

チャレンジシート① 解答

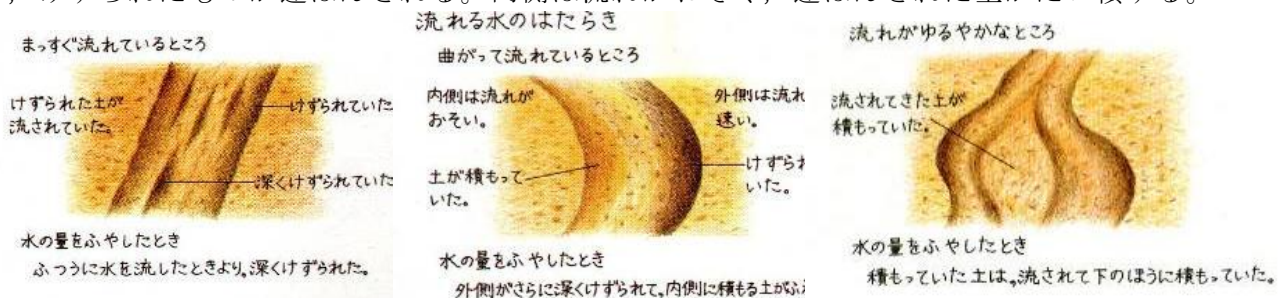
学習日 年 月 日

単 元	年 組
5 年 「流れる水の働き」	氏名

流れる水のはたらき

流れる水には、土をけずったり、けずった土をおし流したり積もらせたりするはたらきがある。水の量がふえると、水の流れは速くなり、けずったりおし流したりするはたらきが大きくなる。

流れる水が、地面などをけずることをしん食、けずったものをおし流すことを運ばん、積もらせることをたい積という。曲がって流れているところでは、外側は流れが速く、岸がしん食されて、けずられたものが運ばんされる。内側は流れがおそく、運ばんされた土がたい積する。



流れる水と変化する土地

雨が短時間にたくさんふったり、長い時間ふり続いたりすると川の水の量がふえる。川の水の量がふえると、川の流れは速くなり、土地をしん食したり、石や土などを運ばんしたりするはたらきが大きくなる。運ばんされた石や土などは、流れのおそいところにたい積する。

流れる水のはたらきが大きくなった時に、土地の様子は大きく変わる。

このようなことがくり返され、土地は長い年月をかけて、すがたを変えていく。

川の上流の石と下流の石

上流の石は大きくて角ばった石が多く、下流の石は小さくて丸みをもった石が多い。

上流の石と下流の石の様子がちがうのは、流れる水のはたらきによって、石が流されていくうちに、われたりけずられたりして、形を変えたからである。石の大きさや形が変わるのは、おもに水の量がふえて、流れる水のはたらきが大きくなったときである。

上流の石



下流の石



川とわたしたちの生活

日本は、海の近くまで山がせまっているところが多い。そのため、上流から下流までのかたむきが急で流れが速い川が多く、台風などで雨が短時間に多量にふったときは、こう水が起こりやすい。

そこで、ていぼうやダムなどをつくって様々なこう水をふせぐ工夫をしたり、こう水が起こったときのために、ひなんや救助の対さくを立てたりしている。

単 元	年 組	
5 年 「流れる水の働き」	氏名	7 問

1 次の の中に当てはまる言葉を書きましょう。

- (1) 流れる水が、地面などをけずることを という。
- (2) 流れる水が、けずったものをおし流すことを という。
- (3) 流れる水が、けずったものを積もらせることを という。
- (4) 流れる水の量がふえると、水の流れは速くなり、けずったりおし流したりするはたらきは なる。

2 下の写真は、流水実験で川が曲がって流れている様子を表したものです。「流れが速いところ」は、

ア 川の流れの外側 イ 川の流れの内側 のどちらでしょうか。
下の の中に書きましょう。

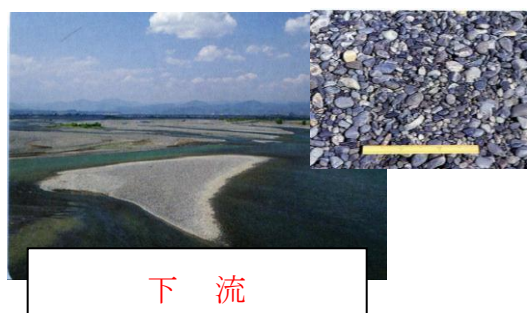
<流水実験の写真>

川の流れが速いのは、



です。

3 下の写真は、川の上流、下流と石の様子です。それぞれどちらの写真かなのか、写真の下の の中に「上流」または「下流」という言葉を書き入れましょう。



単 元	年 組	
5 年 「流れる水の働き」	氏名	
		2 問

- 1 下の写真のように、川の上流では大きくて角ばった石が多く見られ、下流では小さくて丸みをもった石や砂が多く見られるようになります。



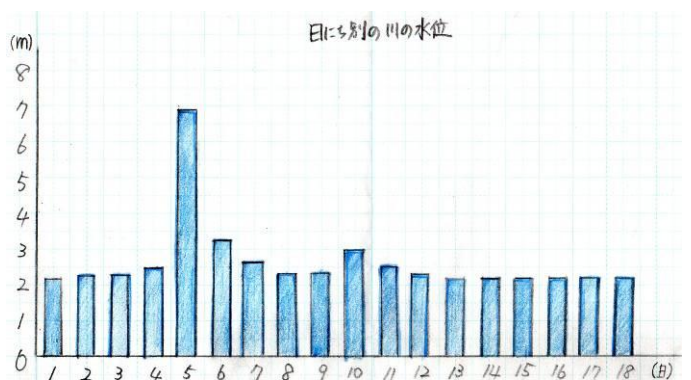
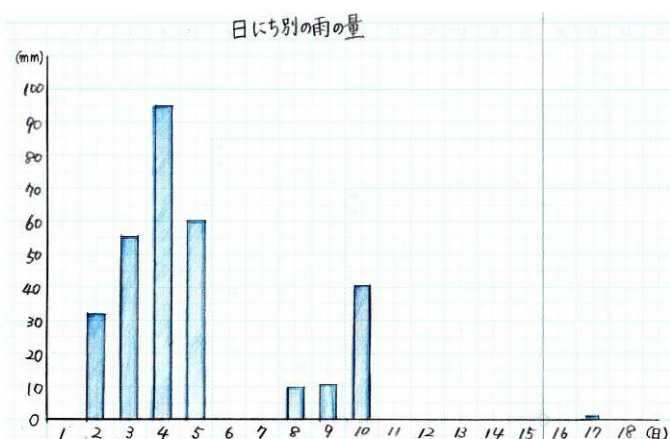
このように、上流と下流で見られる石の大きさや形がちがうわけを、流れる水のはたらきと関係づけて下の の中に書きましょう。

上流にある、大きくて角ばった石は、流れる水の働きによって、割れたり削られたりしながら川の上流から中流、下流へと運ばんされるため。

- 2 下のグラフは、9月の東京都世田谷区に降った雨の量と世田谷区に流れる多摩川の

水位を表したものです。この2つのグラフから、降った雨の量と川の水位にはどんな関

係があるといえますか。下の の中に書きましょう。



世田谷区に流れる多摩川の水位は、毎日最低でも 2 m はある。しかし 5 日の水位は 6 m ～ 7 m、6 日の水位は 3 m と普段の水位を上回っている。世田谷区に降った雨の量を確認してみると、2 ～ 5 日に雨が強く降っていることが分かる。世田谷区に雨が強く降ると、その後少し遅れて 1 ～ 2 日間、川の水位が上昇する傾向にあると言える。